

平成29年度 東京都学力調査分析 小松川第二中学校〈英語〉

1. 結果の概要

カテゴリー 内容(観点)	問題番号	設問項目	都平均 (%)	本校平均 (%)
聞くこと	1(1)	相手の話を聞き、積極的に応答しようとする。	96.9	99.2
	2(1)	疑問詞のある疑問文に適切に応答できる。	56	59.4
	2(2)	疑問詞のある疑問文に適切に応答できる。	53.1	65.4
	2(3)	相手からの依頼に適切に応答できる。	53.1	58.6
	3(1)	まとまりのある英文を聞いて、詳細を理解することができる。	35.7	33.1
	3(2)	まとまりのある英文を聞いて、詳細を理解することができる。	66.1	68.4
	3(3)	まとまりのある英文を聞いて、概要を理解することができる。	94	98.5
	聞くこと平均			65.0
読むこと	6(1)	前置詞の意味を理解する。	59	51.9
	6(2)	前置詞の意味を理解する。	76.9	68.4
	7(1)	まとまりのある英文を読んで、詳細を理解する。	79	82
	7(2)	まとまりのある英文を読んで、趣旨を理解する。	83.4	85.7
	8(1)	What + 名詞で始まる疑問文の語順を理解する。	41.9	80.5
	8(2)	代名詞及び形容詞の入る位置を理解する。	56.9	72.9
	8(3)	3人称・単数・現在の否定文の語順を理解する。	76	82
	8(4)	What から始まる疑問文の中で副詞の入る位置を理解する。	76.3	83.5
	11(1)	英文から、必要な情報を正確に取り出すことができる。	75.5	75.2
	11(2)	複数の情報を比較・関連付けながら、英文の内容を読み取ることができる。	86.9	87.2
	11(3)	得られた情報を基に、結論を導き出すことができる。	54.8	61.7
	12(1)	英文から、必要な情報を正確に取り出すことができる。	50.4	61.7
	12(2)	複数の情報を比較・関連付けながら、内容を読み取ることができる。	67	72.2
	12(3)	複数の情報を基に、結論を導き出すことができる。	45.1	45.9
読むこと平均			66.4	72.2
書くこと	4	伝えたい内容を正確な英文で書くことができる。	38.7	38.3
	5(1)	会話の状況設定を理解し、動詞を活用して書くことができる。	52.9	56.9
	5(2)	会話の状況設定を理解し、動詞を活用して書くことができる。	45.9	60.9
	9	場面にふさわしい表現を用いて書くことができる。	52.7	52.6
	10	相手に自分のことを積極的に伝えようとする。	62.4	71.4
書くこと平均			50.5	56.0

2. 結果に対する課題と改善策

〈カテゴリー内容(観点)別の結果の課題と改善策〉

- ・3(1)『まとまりのある英文を聞いて理解できる』では、都平均と比較して少し低く、かつ正答率が3割程度である。うまく聞き取ることができず、日本語(Japanese)と日本(Japan)が混同した可能性もある。授業内で、聞き取り練習の方法も工夫して、指導していく。
- ・4『正確な英文を書く』では、都平均と大きな差は無いが、正答率が4割に満たしていない。自身についてのスピーチ原稿を書く経験はあると思うが、他者の紹介については慣れていないと考えられる。3人称単数現在形を活用した文を繰り返し指導していく。
- ・6(1)(2)『前置詞の意味の理解』が、都平均と比較して低い。前置詞の使い方や意味には、様々なものがあるので、応用させていくには、繰り返しの練習が必要となる。授業内で前置詞を活用した練習の回数を増やしていく。
- ・11(1)『必要な情報を正確に取り出す』では、都平均と大きな差は無いが、正答率が少し下回っている。日々の授業の中で、英文を読む機会を増やしていく。読解力と語彙力を要するので、日々の繰り返しの練習や定期的に解くことが必要となる。

【まとめ】

今後の課題について3つの観点を中心に考えた。

① 既習事項を忘れないための工夫

新しい語(句)や文法を導入した後は、繰り返し練習させたり、コミュニケーション活動にも必ず取り入れさせたりして定着を図る。リスニングでも関連した内容を取り入れて、理解できるように指導する。

② 中間・期末考査での振り返り

定期考査で結果が良くなかった問題を再度中間・期末考査に出題する。

あらかじめ繰り返し出題することを授業で知らせ、復習を促していきたい。

授業で聞いて読み、話すことの繰り返しで定着が図れると考える。

③ コミュニケーション活動

話題を与え、コミュニケーションをとる言語活動を常活動で行っている。その際に使うべき文法を復習し、何度も繰り返し、定着を図る。習ったことを英語に訳すだけでなく、自由に英語でコミュニケーションできるようになるために何度も繰り返し話し、練習させていきたい。

④ パフォーマンステスト

プレゼンテーションを行わせたり、インタビューを行ったりして、表現力やコミュニケーション能力を高めさせたい。